



評価のポイント

CL-新人.看護実践能力：ケアする力
[42-新人] 社会資源の基本的知識

1. 「住み慣れた地域」で「自分らしい暮らし」とはどういう意味でしょうか？

住み慣れた地域において自身の障害などの程度に応じたサービスを利用しながら、自宅または各種老人ホームでそのひとらしい生活を送ることである。

2. 「地域包括ケアシステム」・「地域共生社会」それぞれの概念を説明できますか？

地域包括ケアの概念は「日常生活圏域を単位として、何らかの支援を必要としている人々も含め、誰もが、望むなら、住み慣れた地域の住みかにおいて、自らも主体的な地域生活の参加者として、尊厳を保ちつつ安心して暮らし続けられるための仕組み」である。地域共生社会とは、「地域で生活するすべての人、高齢者・障害者・子ども・生活困窮者などが対象であり、地域生活に多様な生活環境を複合的に抱える住民を社会的に包摂することである」が、具体的な制度や仕組みの構築はこれからの課題である。

3. 介護保険の申請が必要な患者さん・ご家族に対してその必要性和手続きについて説明できますか？

高齢者の暮らしを社会全体で支える仕組みが介護保険制度である。要支援または要介護の支援を希望した場合、市町村の窓口介護保険要介護・要支援認定申請書を提出し、ケアマネージャー（認定調査員）が一次判定を行い、それと同時にかかりつけ医の意見書が必要となる。最終的な判定で要支援1から2または要介護1から5が決定され被保険者証が送付されてくる。